

1 単元指導計画の事例

(1) 単元について

対象学年	高等学校 第2学年
学習指導要領	読むこと (イ) 書くこと (エ)
単元名	Lesson 6 UNDER THE ATOMIC CLOUD (全11時間) ○○○○○○ ENGLISH COURSE II △△△堂
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの被爆体験に感情移入し、追体験しようとレシテーションに積極的に取り組んでいる。 ・ 間違ふことを恐れずに自分の考えをまとめた英文で書き、表現できないところがあっても既知の語句や表現を使って、読み手に自分の主張を伝えようとしている。 <p style="text-align: right;">(コミュニケーションの関心・意欲・態度)</p> ・ oral interpretation の視点から、グループでパート別にレシテーションを行い、テキストから得られた解釈を、音声面に留意して豊かに表現し、聞き手に伝える。 ・ テキストの被爆体験や関連教材を読み、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、自分の考えをまとめた英文で述べ、生徒間で考えを交換する。 <p style="text-align: right;">(表現の能力)</p> ・ 内容を捉える上で重要となるキーワードに留意し、概要を整理することができる。 ・ 各パートを意味のまとまりごとに読み進め、パラグラフごとの内容を正確に把握できる。 <p style="text-align: right;">(理解の能力)</p> ・ 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞～前置詞の意味と用法を理解し定着させる。 <p style="text-align: right;">(言語や文化についての知識・理解)</p>
配慮事項	<p>レシテーションによる発表と戦争に対する自分の考えの交換を最終目標に位置付け、そこに至るプロセスとして、物語の流れを把握し、筆者の訴えを理解し、音声指導を行う。そのために、以下の点に配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストを読む前に戦争や紛争についてクイズ等を与え、問題意識を喚起する。 ・ 黙読が度々中断することのないよう、新出の文法事項や表現については、予め説明を与える。 ・ 読む集中力を持続させるために、意味のまとまりごとに区切られた英文を読ませ直読直解を心がけさせる。 ・ 確認のためにパートごとに訳例を与える。 ・ True or False、Q and A、cloze test など多様な問題を与え、内容確認させる。 ・ キーワードが示す内容について日本語による説明を求め、解釈につなげる。 ・ retelling をペアで行い、語り手と聞き手を意識させると同時に、音声面での相互チェックをさせる。連音・ストレス・ブレスグループの練習は一斉指導する。
参考資料	(平成15年度のファイルを参照)

(2) 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
読むこと の評価規準	「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。	幅広い話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	幅広い話題についての英語を読んで、情報や考えなど書き手の伝えようを正確に理解することができる。	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
	さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。	幅広い話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	幅広い話題についての英語を場面や目的に応じて適切に読み取ることができる。	幅広い話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
書くこと の評価規準	「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。	幅広い話題について得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。		言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
	さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。	幅広い話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。		幅広い話題についての英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
単元における 評価規準	(言語活動への取組) ・ 積極的に暗唱に取り組んでいる。 ・ 間違ふことを恐れずに、自分の考えをまとめた英文で書いている。	(正確な暗唱及び正確な筆記) ・ 正しいリズムやイントネーションなどを用いて暗唱することができる。 ・ テキストの被爆体験や関連教材について自分の考えを正確に書くことができる。	(正確な読み取り) ・ パラグラフごとの内容を正確に把握することができる。	(言語についての知識) ・ 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞～前置詞の意味と用法を知っている。
	(コミュニケーションの継続) ・ 表現できないところがあっても既知の語句や表現を使って書き続けている。	(適切な暗唱及び適切な筆記) ・ テキストから得られた解釈を考慮して、適切に暗唱することができる。 ・ 自分の考えについて、内容を整理し、まとめた分量を書くことができる。	(適切な読み取り) ・ 全体の概要を理解し整理することができる。	(文化についての理解)

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
学習活動における 具体的評価規準	(言語活動への取組) ① 感情移入し、積極的に暗唱に取り組んでいる。 ② 語句や文法などの誤りに関わらず、自分の考えをまとめた英文で書き、読み手に伝えようとしている。	(正確な暗唱及び正確な筆記) ① 正しい発音、連音、ストレス、ブレスグループ、リズム、イントネーションに留意して、正しく暗唱することができる。 ② テキストや関連教材を読み、正確な表現・語彙・文法を使って、自分の考えを書くことができる。	(正確な読み取り) ① 意味のまとまりごとに読み進め、パラグラフごとの内容を正確に把握することができる。	(言語についての理解) ① 語句を先行詞とする関係代名詞 (who 及び which) の非制限用法の意味と用法を知っている。 ② 【関係代名詞～前置詞 (which ～ at)】及び【前置詞＋関係代名詞～ (at which ～)】の意味と用法を知っている。
	(コミュニケーションの継続) ③ 表現できないところがあっても、既知の語句や表現を使って言い換えたり、辞書を活用して書き続けている。	(適切な暗唱及び適切な筆記) ③ テキストの被爆体験から得られた解釈を反映させ、筆者の訴え、心の動き、情景を適切に表現して、暗唱することができる。 ④ テキストや関連教材について1つのテーマに対して自分の考えを3文以上の英語で書き表すことができる。	(適切な読み取り) ② 内容を捉える上で重要となるキーワードとパート全体の概要を理解し整理することができる。	(文化についての理解)

(3) 指導と評価の計画 (全 1 1 時間)

時	学習目標	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア 関 心	イ 表 現	ウ 理 解	エ 知 識		
1	<p>○原爆投下をはじめとする過去の戦争や現在の戦争について知識を得るとともに、戦争の愚かさや悲惨さ、平和の大切さについて問題意識を喚起する。</p> <p>○関係代名詞の非制限用法、及び【関係代名詞～前置詞】の意味と用法を理解し、定着させる。</p>	<p>○単元全体の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布。 ・戦争や紛争についてのクイズに答える。 ・冒頭の聞き取りクイズに答える、本文の予備知識を得るとともに、テキスト理解のためのキーワードに着目する。 ・被爆体験を扱った短い関連教材を読む。 <p>・関連教材のレシテーションのデモ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.61 の POINTS を利用し関係代名詞(which と who)の非制限用法、及び【関係代名詞～前置詞 (which～at)】と【前置詞+関係代名詞～(at which)】の意味と用法の説明。 ・関係代名詞を含む文の練習問題。 					<ul style="list-style-type: none"> ・背景知識を得るとともに、関心を喚起する。 ・キーワードを板書し意識付けする。 ・語彙の意味をつけておき、簡単な英文を読ませる。 ・レシテーションを単元の終わりに行うことを予告する。 ・基礎的文法事項の定着を図る。 	

2	<p>○テキストを意味のまとまりごとに読み進め、読む速度を向上させる。</p> <p>○内容を捉える上で重要となるキーワードに留意し、全体の概要を理解し整理することができる。</p> <p>○パラグラフの内容を正確に把握できるようにする。</p>	<p>【Part 1】</p> <p>○教科書を閉じたまま、テキストのテープを聴き、口頭の True or False questions を答える。</p> <p>○教科書を開けて、もう一度テープを聴き、全員で答え合わせをする。</p> <p>○新出単語及びキーワードの発音練習を行う。</p> <p>○sense grouping、SVOC、簡単な文法説明が施してあるテキストのプリントが配布される。できるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○概要理解用プリントの英語の質問に答え、全員で答え合わせをする。</p> <p>○sense group ごとにテキストの意味の確認をする。</p> <p>○文法的・構造的に難しい英文の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Nothing dreadful~ ・ The shelter, which~ <p>○もう一度プリントのテキストを黙読し、時間を記録する。</p> <p>○プリントの日本語の質問に答え、全員で答え合わせをする。</p> <p>○教科書、プリントを閉じたまま、テキストのテープを聴き、再度 sense group ごとに意味の確認をする。</p> <p>○教科書のテキストを見ながら、テープに合わせて全員で音読練習をする。</p> <p>○教科書のテキストを見ながら、個々に音読練習をする。</p> <p>○テキストの訳例を配布し、家庭での復習時に活用させる。</p>			②		<p>・ワークシートチェック</p> <p>・活動の観察</p>	<p>・テキストと質問は2回ずつ繰り返す。質問内容は、簡単にし、音に慣れさせる。</p> <p>・予習で単語等の意味調べをさせておく。</p> <p>・ sense group ごとに個々の生徒に順番に当てていき、途切れることのないよう配慮する。</p> <p>・視点を sense group 単位から文全体に向けさせる。</p> <p>・最初より速く読むよう促す。</p> <p>・段落全体を見通すことを意識させる。</p> <p>・ sense group ごとに個々の生徒に順番に当てていき、途切れることのないよう配慮する。</p> <p>・机間指導により発音をチェックする。</p>
					①			

3	<p>○テキストを意味のまとまりごとに読み進め、読む速度を向上させる。</p> <p>○パラグラフごとの内容を正確に把握できるようにする。</p>	<p>【Part 1 の復習】</p> <p>○教科書のテキストを見ながら黙読し、時間を記録する。</p> <p>【Part 2】</p> <p>○教科書を閉じたまま、テキストのテープを聴き、口頭の True or False questions を答える。</p> <p>○教科書を開けて、もう一度テープを聴き、全員で答え合わせをする。</p> <p>○新出単語及びキーワードの発音練習を行う。</p> <p>○sense grouping、SVOC、簡単な文法説明が施してあるテキストのプリントが配布される。できるだけ速く黙読し、時間を記録する。</p> <p>○概要理解用プリントの英語の質問に答え、全員で答え合わせをする。</p> <p>○sense group ごとにテキストの意味の確認をする。</p> <p>○文法的・構造的に難しい英文の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ the last time we saw~ ・ the monpe she had just~ ・ see if everything was~ ・ patted me on the head~ ・ and so did Makoto~ ・ a strong wind, which~ ・ with my hands over~ ・ They weren't ~any more <p>○もう一度プリントのテキストを黙読し、時間を記録する。</p> <p>○プリントの日本語の質問に答え、全員で答え合わせをする。</p> <p>○教科書、プリントを閉じたまま、テキストのテープを聴き、再度 sense group ごとに意味の確認をする。</p> <p>○教科書のテキストを見ながら、テープに合わせて全員で音読練習をする。</p> <p>○教科書のテキストを見ながら、個々に音読練習をする。</p> <p>○テキストの訳例を配布し、家庭での復習時に活用する。</p>			②	<p>・ ワークシートチェック</p> <p>・ 活動の観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書には、何も記入させないようにする。 ・ テキストと質問は2回ずつ繰り返す。質問内容は、簡単にし、音に慣れさせる。 ・ 予習で単語等の意味調べをさせておく。 ・ sense group ごとに個々の生徒に順番に当てていき、途切れることのないよう配慮する。 ・ 視点を sense group 単位から文全体に向けさせる。 ・ 最初より速く読むよう促す。 ・ 机間指導により発音をチェックする。
---	---	--	--	--	---	------------------------------------	--

4 5 7	3 時間目と同様の学習目標・学習活動・評価規準・評価方法 (テキストの範囲は、Part 3 ～ Part 6)						
8	<p>○間違ふことを恐れずに自分の考えをまとめた英文で書き、表現できないところがあっても既知の語句や表現を使って、読み手に自分の主張を伝えようとしている。</p> <p>○テキストの被爆体験や関連教材を読み、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、自分の考えをまとめた英文で述べ、生徒間で考えを交換する。</p>	<p>【テキスト全体の復習】</p> <p>○教科書のテキスト全体を見ながら黙読し、時間を記録する。</p> <p>○p.60 の SUMMARY を解き、全体で答え合わせをする。</p> <p>○言語活動シートを使い、教科書欄外の各質問に対して自分の考えを3文以上の英語で書く。</p> <p>Q. Imagine you are in a war like this. How do you feel if you have air raids every day?など</p> <p>○グループ内で質問ごとに、自分の書いた英文を読み上げ、自分の考えを交換する。</p> <p>○作文を書いたプリントを提出する。</p>	② ③	② ④	② ④	<p>・活動の観察</p> <p>・授業後、プリントの記入状況チェック</p>	<p>・教科書には、何も記入させないようにする。</p> <p>・各質問に答える前に該当の各 Part のテキストを読ませる。</p> <p>・個人活動として取り組ませる。</p> <p>・4人グループで取り組ませる。</p>
9	<p>○テキストの被爆体験に感情移入し、追体験しようとしてレシテーションに積極的に取り組んでいる。</p>	<p>【レシテーションの練習】</p> <p>○4人グループを作る。</p> <p>○音声身体表現の7つのポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り手は誰か。 ・聞き手は誰か。 ・時はいつか。 ・場所はいつか。 ・目的は情報伝達か、説得か、歓待か。 ・内容がどういうことか。 ・様式は何か。 <p>○レシテーション発表の評価の観点を理解する。</p> <p>○各グループ間で担当する Part を決める。</p> <p>○グループ内で担当を決め、発表方法を話し合う。</p>					<p>・これまでと同じグループ。</p> <p>・音声身体表現の7つのポイント及び評価の観点を板書し、意識づけをする。</p>

		○発表の練習をする。	①			・活動の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・発表方法を工夫するよう促す。 ・机間指導により発音をチェックする。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○テキストの被爆体験に感情移入し、追体験しようとしてレシテーションに積極的に取り組んでいる。 ○テキストから得られた解釈を、音声面に留意し、筆者の訴え、心の動き等を豊かに表現して発表することができる。 	<p>【レシテーションの発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配布される評価表に目を通す。 ○グループごとに発表開始。4人×10グループ。 ○生徒用評価表を提出する。 	①	① ③		<ul style="list-style-type: none"> ・発表の評価（教師による個々の生徒の評価及び生徒によるグループごとの相互評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の順番は予め決めておく。 ・発表の間、他の生徒は、評価に徹し、練習しない。 ・ビデオ撮影をして記録をとる。
11	○関係代名詞の非制限用法、及び【関係代名詞～前置詞】の意味と用法を理解し、定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○p.63のPRACTICEを解き文法・語彙の復習と練習をする。 ○本課で学習した文法事項、語彙についての定着確認テストを解く。 ○レシテーション発表のグループ別評価結果（生徒の相互評価）やベストグループが発表される。 ○個人別の評価（教師による評価）が個別にフィードバックされる。 			① ②	・小テスト	

2 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・テキストを意味のまとまりごとに読み進め、読む速度を向上させる。
- ・パラグラフごとの内容を正確に把握できるようにする。
- ・内容を捉える上で重要となるキーワードに留意し、全体の概要を理解し整理することができる。

(2) 本時の位置

4 / 11

(3) 展開案

過程	学習活動	評価について	指導・援助
復習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時 (Part 2) の復習 ・ 教科書のテキストを見ながら、個々に黙読をする。 ・ 所要時間を記録する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書には何も記入させない。 ・ 前回よりも速く読めるよう促す。
導入	<p>【Part 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を閉じたまま、テキストのテープを聴き、教師による口頭の True or False questions に答える。テキストと質問は2回ずつ繰り返す。 <p>True or False questions</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A big pillar of fire was sticking up into the sky. 2. First big pillar was all red, and then it turned yellow. 3. After a while, it got dark and hot. 4. Lots of black smoke was coming from Urakami. 5. It began to rain. <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を開けて、もう一度テープを聴き、全員で答え合わせをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ テープスピードを遅くする。 ・ 質問内容は、簡単にし、音に慣れさせる。 ・ 挙手で回答させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ テープスピードを標準にし、該当箇所を確認する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新出単語及びキーワードの発音練習を行う。 ○ テキストの速読練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ sense grouping、SVOC、簡単な文法説明が施してあるテキストのプリントが配布される。 ・ 個々に、できるだけ速く黙読する。 ・ 所要時間を記録する。 ○ プrintの英語の質問に答え、全員で答え合わせをする。 <p>Questions</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Where did the writer see a big pillar made of fire? 2. What did the top of the pillar look like? 3. How did the weather change? 4. What kind of rain began to fall? 5. Why did the writer go into the house? 	<p>ウー①</p> <p>プリントの英語の質問に答える活動を観察することにより、パラグラフごとに概要を速く正確に把握することができたかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習で単語等の意味調べをさせておく。 ・ 読んでいる最中に単語等の意味を忘れた場合は、見てもよいこととする。 ・ 全文を読ませず、拾い読みさせる。 ・ 主語＋動詞のある完全な文で答えさせる。 ・ 代名詞にも注意する。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ sense group ごとにテキストの意味の確認をする。 ○ 文法的・構造的に難しい英文の説明をする。 <ul style="list-style-type: none"> • <u>Swelling and swelling</u>, it went up and up, higher and higher, like smoke from a chimney, all the way up to the sky. (分詞構文の復習) • The sun, which I looked up at through the cloud, was the color of something dead. (関係代名詞の非制限用法) • It got dark---almost as dark as night---and cold, too. (比較級の復習) • We stood there watching the black smoke. (分詞構文の復習) ○ もう一度プリントのテキストを黙読し、時間を記録する。 ○ Part 2 の第3段落及び Part 3 全体について、筆者(茅乃)が見た原爆投下後の様子の変化を絵に描く。 <ul style="list-style-type: none"> ①Part 2 第3段落 ②Part 3 第1段落 ③Part 3 第1段落 ④Part 3 第1段落 ⑤Part 3 第2段落 ⑥Part 3 第3段落 ○ 教科書のテキストを見ながら、テープに合わせて全員で音読練習をする。 ○ 原爆投下後の様子を自分が描いた絵を使って retell できるようにテキストを読み込む。 ○ ペアで、パートナーに原爆投下後の様子を自分が描いた絵を使って retell する。 	<p>ウー② 授業プリントに描かれている原爆投下後の様子を見ることで、内容が適切に整理されているか確認する。</p> <p>ウー② ペア・ワークを観察して、絵と話の流れを関連づけて話しているか、話が整理されているかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sense group ごとに個々の生徒に順番に当てていき、途切れることのないよう配慮する。 • 視点を sense group 単位から文全体に向けさせる。 • 最初より速く読むよう促す。 • 段落全体を見通すことを意識させる。 • 机間指導により発音をチェックする。 • 話し手、聞き手ともにテキストを見ない。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ テキストの訳例を配布し、家庭での復習時に活用させる。 		<ul style="list-style-type: none"> • 次の時間に、本時の復習として、教科書のテキストを黙読することを伝える。